

環境マネジメント | 環境に配慮したクルマ | 気候変動 | 資源循環 | 水資源 | 生物多様性 | 汚染の予防 | 2020年度工場・事業所の実績

第6次環境ボランティアプラン(2017～2020年度) 環境マネジメント

領域	項目	2020年度			
		目標	実績		
調達	グリーン調達活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内・海外のお取引先様に対し、環境マネジメントシステム(EMS)の構築・維持・強化を要請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規お取引先様を含めEMS構築体制を維持継続する</li> <li>関係部署に確認し、変更点があればガイドラインに織り込み改訂発行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規お取引先様を含め全396社のEMS構築を維持継続した</li> <li>関係部署に確認した結果2020年度でのガイドライン改訂はなかった</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷物質の削減</li> <li>サプライヤーCSRガイドラインおよびグリーン調達ガイドラインの運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷物質の含有調査を継続し、世界各国の規制動向に対応するため代替材への切り替えを進める</li> <li>社会情勢に鑑みて必要に応じガイドラインを改訂発行しお取引先様に展開、周知する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画通りにIMDS入力依頼やSVHC含有調査などを実施し、代替材への切り替えを進めた</li> <li>説明会(動画配信)と遵守状況調査を通して、お取引先様にガイドラインの展開・周知・遵守要請を行った</li> </ul>	
物流・販売	販売特約店における環境保全活動の推進	自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売特約店の環境への取り組み活動に対する支援実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エコアクション21* 2017年版ガイドラインへの移行審査」を各特約店が確実に受審できるよう、個社教育などの支援を行っていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内特約店における「エコアクション21 2017年版ガイドラインへの移行審査」は、全44社中、2019年度に31社が完了したのに続き、2020年度は13社が完了し、2017年度版ガイドラインへの移行はすべて完了した</li> </ul>
	地域社会と連携した、生物多様性を含む環境保全活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境イベントへの参画、工場近隣にお住まいの方との交流、工場見学への対応を継続</li> <li>生物多様性保全を含めた各工場周辺地域の清掃活動や緑化活動を継続的に実施</li> <li>環境団体などの活動に、支援・協力を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境出前教育、見学者受け入れを継続</li> <li>地域清掃活動の継続実施</li> <li>SUBARUと関わりの深い地域で、森林保全に貢献する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境出前教室および群馬ビジターセンターでのリモート工場見学などを継続</li> <li>地域清掃活動の継続実施</li> <li>ウィズ・コロナ下でも、当社と関わりが深い地域コミュニティと継続的に取り組んだ</li> </ul>
管理	環境関連情報の公開		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境報告の継続的発行、広報資料などによる環境情報の適時公開を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイムリーなCSRレポートでの公開を引き続き実施していく</li> <li>様々なコンテンツを有効活用し、適宜適切な情報発信を推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『サステナビリティレポート2021(日本語版)』(本書)を2021年9月に公表し、同じ(英語版)は10月公表予定</li> <li>CDPなどの環境NGO、ESG評価機関などの質問書へ回答必要に応じて回答結果を当社ホームページなどで公表</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>環境報告書記載内容の改善・充実を図る(「環境報告ガイドライン」への準拠対応、グループ企業も含めた報告)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より分かりやすい開示の検討を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TCFDや統合報告などと親和性のある内容へ、継続的改善を進めた</li> </ul>
	環境教育や啓発活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境展などに参画し、SUBARUの環境への取り組みをアピール</li> <li>社内教育システムに組み入れた環境・社会教育を継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社の環境への取り組みをより広く理解いただける方法を検討し、その実行へ移す</li> <li>Eラーニング実施により、さらなるレベルアップを目指す</li> <li>廃掃法の理解度向上に向けた取り組みを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウィズ・コロナの時代に適応した方法を検討していく</li> <li>Eラーニング実施により、さらなるレベルアップを促進</li> </ul>
	環境マネジメントシステムの構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>SUBARU全拠点ISO14001 統合認証を継続維持</li> <li>環境マネジメントシステムの継続的改善を推進</li> <li>関連企業・サプライヤーとの連携の強化、連結環境マネジメント体制の構築を維持・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な環境マネジメントシステムの整備・運用を推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ企業一体での認証を継続</li> </ul>

\* エコアクション21(EA21)：環境省がISO14001を参考に、中小事業者が取り組みやすいように設計された環境マネジメントシステム。